

令和3年度 男鹿市学校教育の基本方針

本市は、「健康・教育・環境でみんなが夢を実現できるまち」を目指しており、市総合計画において、まちづくりの基本目標の一つに「教育の振興」を掲げている。

今、学校には、変化の激しい社会をたくましく生き抜き、郷土や社会を支える人材、世界に羽ばたく人材の育成が求められている。

また、本市の小・中学校では、学校が小規模化する中での活力ある学校づくりや、統合により学区が広域化する状況で地域とのつながりを維持・発展することが課題となっている。

これらを踏まえ、本市学校教育においては、「ふるさと男鹿を愛し、すぐれた知性、豊かな心、たくましい体を持ち、ふるさと男鹿の将来を担う子ども」の育成を目指し、コミュニティ・スクールの取組を踏まえた学校経営を基盤に、「確かな学力の育成」「豊かな人間性の育成」「たくましい心と体の育成」「教職員の研修の充実」に向けた取組を推進していく。

男鹿市の目指す子ども像

ふるさと男鹿を愛し、すぐれた知性、豊かな心、たくましい体を持ち、
ふるさと男鹿の将来を担う子ども



男鹿市学校教育の4つの柱と重点目標

確かな学力の育成	豊かな人間性の育成	たくましい心と体の育成	教職員の研修の充実
1 学習指導の充実 2 小・中連携の推進 3 地域の教育力の活用	1 心に響く道德教育の推進 2 心を育てるふるさと教育の充実	1 自己指導能力を育む生徒指導の充実 2 健康で過ごす安全・安心な学校づくり	1 連携による研修の充実 2 校内研修の充実



学校教育推進の基盤

コミュニティ・スクールの取組を踏まえた学校経営

- 地域と一体化したコミュニティ・スクールの推進により、学校の活性化を図る
- 全教育活動を通してふるさと教育の充実に努める